

63 盲ろう者宿泊型生活訓練等モデル事業における機能訓練及び宿泊型支援・余暇活動支援の実施状況報告

吉田洋美 中島八十一 河原勝洋 三好尉史 藤田ゆかり
納富祐輔 江黒直樹 會田孝行 上野久美子 前田晃秀

〈概要〉

盲ろう者宿泊型生活訓練等モデル事業(本事業)は、平成21年度に厚生労働省を中心とした「盲ろう者支援のあり方に関する勉強会」の中で、盲ろう者を孤立させない支援体制や支援方法のあり方を各都道府県等に情報発信していくことを目的とし、当センターと全国盲ろう者協会が主体となって実施した事業である。

平成22年4月から平成22年9月までの6ヶ月間は、全国の盲ろう者友の会等を通じた訓練希望者の募集や訪問アセスメントによる対象者の決定等、利用者受け入れに向けての準備を行い、平成22年10月から平成23年9月までの1年間は、4名を定員として実際に利用者支援を実施した。平成23年10月以降は本モデル事業利用者のアフターフォローや、支援結果のまとめ、事業報告書の作成等に取りかかっているところである。

〈発表目的〉

本事業においては、年齢や性別、訓練目標だけでなく、主たるコミュニケーション手段がそれぞれ異なる盲ろう者にサービスを受けて頂くことが出来た。機能訓練サービスにおいても、多様性のある盲ろう者支援に取り組む良い機会を頂いたと同時に、通訳・介助員等の各専門職と連携しながら訓練を提供するという新しい取り組みとなった。

本発表においては、1年間にわたって実施した機能訓練サービス及び宿泊・余暇支援の実施結果報告と、利用者支援を通して感じた支援の特徴や、今後の盲ろう者支援に関する課題等について考察する。

〈実施結果概要〉

○受入数：

合計9名(男性3名、女性5名) ※うち中途解約1名

○平均年齢(利用開始時)：

37.9歳(19歳～58歳)

○主たるコミュニケーション手段：

接近手話3名、音声2名、触手話3名

○サービス提供内容：

①障害者自立支援法に基づく機能訓練サービス

②宿泊支援におけるモデルハウスでの生活支援及び余暇活動支援

○支援スタッフ体制

コーディネーター、ケースワーカー、訓練支援員、モデルハウス生活支援員、
通訳・介助員、宿直支援員、当事者講師 等